

情報提供資料

上皇后陛下の乳がん診療における静岡がんセンターの役割について

令和元年9月9日
静岡県立静岡がんセンター

上皇后陛下には、9月8日に乳がんの手術をお受けになり、その結果について、宮内庁から発表がありました。(既報)

上皇后陛下の乳がん診療における静岡県立静岡がんセンター(以下、「静岡がんセンター」)の役割は以下のとおりです。

- 平成19年12月、宮内庁より乳がん検診の依頼を受け、以後、高橋かおる医師(乳腺外科部長(当時)、浜松医科大学出身)を毎年派遣。
- 本年7月、乳腺超音波検査で病変が見つかり、MR I検査でも乳がんの疑いと診断。
- 8月2日、宮内庁病院にて、植松孝悦医師(乳腺画像診断科部長、新潟大学医学部出身)が針生検を実施。東大病院の病理診断に加え、静岡がんセンター病理診断科 杉野隆医師(病理診断科部長、福島県立医科大学出身)の病理検査により乳がんと診断。
- 8月8日、静岡がんセンターがんサージカルボードを開催し、当センター推奨の追加検査、治療内容等を検討。
- 最終的な診療方針は、静岡がんセンター・東大病院の合同治療チームにより決定。
- 9月8日、静岡がんセンター乳腺外科(乳腺センター長 高橋かおる医師)と東大病院乳腺・内分泌外科の合同チームにより手術を実施。

【参考】静岡がんセンターの乳腺外科、乳腺画像診断科、病理診断科について

□ 各診療科の概要、特徴(ホームページ参照)

<https://www.scchr.jp/division/index.html>

※本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

静岡県立静岡がんセンター マネジメントセンター 医療広報担当 TEL 055(989)5222